

志染地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和3年11月19日(金)
午後7時00分～8時35分
- 2 場 所 志染町公民館大会議室
- 3 参加者 志染地区 18人
市 27人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、危機管理課長、財政課長、経営管理課長、商工振興課長、観光振興課長、農業振興課長、道路河川課長、プロジェクト推進課長、交通政策課長、教育施設課長、生涯学習課長)
オブザーバー 6人
傍聴者 4人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答

別紙のとおり

- (2) 意見交換

- ア 志染バイパス延伸の進捗状況について

【志染地区】

県からの連絡がないことにより地域に不信感を与えないよう、市が県と地域の間での架け橋として密に情報交換を行うと言われていたにも関わらず、2月の合意以降、10月まで会合が開かれなかった。測量の終了後に次の会合を開くこととなっているが、まだまだ先になるのだろうと認識している。また、歩行者が多い場合はバイパス南側に歩道等を設置いただける可能性があるため、総合防災公園から眼鏡橋を通り、御坂神社、金水を経由して一周するフットパス計画があると聞いている。9月に県、市、御坂地区で現地視察や意見交換を行ったほか、12月にはアドバイザーを交えた意見交換を行う予定である。訪れる人が増えるよう地域としても協力するため、密に情報共有いただきたい。

【都市整備部長】

市としては情報共有に努めたいと考えているが、県が詳細設計に取り掛かったのが9月ということで間が空いてしまい不信感を与えてしまったことをお詫びする。フットパスによる賑わいづくりで両側歩道に結び付けていく取組を、県と連携して進めていきたいため、今後ともご協力をお願いしたい。

【副市長】

地域がご協力いただいている中で、県事業とは言え市が情報共有できていなかったことは申し訳ない。事業が進んでいない場合でもその旨をきっちりお伝えするようにしていく。

【志染地区】

地域としてもフットパス計画の成功に向けて全面的に協力する。

【志染地区】

フットパス計画について、眼鏡橋や御坂神社等を通るルートと聞いたが、伽耶院や千体地蔵も巡ることができるよう計画いただけないか。

【プロジェクト推進課長】

県事業の進捗状況について、説明できることがないという県の回答を、きちんと地域の方に説明する機会を設けられなかった点はミスであり申し訳なかった。フットパスのルートについては、実際にアドバイザーと現地を巡り検討する予定であるほか、関係地区の方にも確認いただきブラッシュアップを図っていく。フットパスも県の事業ではあるが、市もしっかり関わっていく。関係地区として御坂地区や窟屋地区等の地域の方に確認いただこうと考えているが、ご希望があれば戸田地区の方にも見ていただきたいと思います、ご意見いただきたいと思います。

【市長】

市が間に入ると言ったにも関わらず、できていなかったことについて深くお詫びする。ただし、本来県がすべきものを、県と市民は距離が遠いため、市がはいっているということについてはご理解いただきたいと思います。市としては今後とも地域に寄り添って進めていきたいと考えている。

【志染地区】

フットパスで御坂に歩道がついて窟屋につかない懸念がある。フットパスのルートを改良済みの交差点まで伸ばすことは金水がルートから外れるため難しいと聞いているが、改良するのであれば御坂と同じように歩道がつくよう県に言っていたきたい。

【プロジェクト推進課長】

フットパスのルートについては、来月頃からアドバイザーと実際に現地を巡り検討する予定であるため、窟屋地区にもお声掛けさせていただきたい。金水を経由する場合、交差点まで行くルートは難しいと考えるが、将来的に歩道を新たな事業として実施することになった場合は、可能な限り尽力させていただく。

イ 志染中学校跡地活用について

【志染地区】

志染中学校の跡地利活用について、市と一緒に検討したいと考えていたが、市としては活用しないため地域で検討いただきたいという回答は、市は無関係であるような意見に感じる。庁内関係部署の職員で構成した廃校利活用検討委員会が令和元年11月に発足されたが、どの程度の人数で何回程度開催されたのか。

【企画政策課長】

廃校利活用検討委員会は、関係部署の部課長16人で構成しており、計8回開催し内部検討を進めてきた。最初の3回で行政目的での利活用を検討し、緊急時のヘリコプター離発着場や災害用備蓄倉庫、美術品の保管倉庫等の目的でのみ廃校を維持することは適切ではないという結論に至ったところである。

【志染地区】

緊急時のヘリコプター離発着場や災害用備蓄倉庫、美術品の保管倉庫等の活用案が出たとのことだが、部課長16人で構成された廃校利活用検討委員会において出た意見としては、地域住民の意見と遜色がない。行政のプロとして他による活用案はなかったのか。

【総合政策部長】

志染中学校だけでなく、統廃合が行われる他の学校も含めた廃校利活用について、市全体として必要な施設があるか等の観点から庁内で意見聴取した結果であるため、ご理解いただきたい。地域との意見交換会を開催させていただく中で、地域の方から頂いた活用案について、庁内部署も一緒に検討していきたい。

【志染地区】

まだまだ検討の余地はあるということか。

【総合政策部長】

ただし、人口減少が進む中で旧志染中学校を市の公共施設として維持管理することは難しいため、民間事業者の活力を活用しながら進めていきたいと考える。

【志染地区】

旧志染中学校については行政目的での活用はしないと回答いただいたが、来年度廃校になる星陽中学校についてはゴルフアカデミーの誘致等を考えているのか。

【産業振興部長】

廃校利活用を検討する中でゴルフアカデミーの案があり、民間事業者の活力を活用したゴルフの拠点整備を念頭に、利活用できる廃校がないか検討を進めているところである。

【志染地区】

公共施設再配置計画において、機能が類似した近隣の市民活動センター、高齢者福祉センターとの複合化を検討しているという回答について説明いただきたい。

【経営管理課長】

中央公民館の建て替えの時期が迫っていることに加え、高齢者の生きがいづくりやまちづくりの促進という目的の類似した施設が比較的近くに設置されている。中央公民館、市民活動センター及び高齢者福祉センターの3施設の相互間の距離はいずれも400m程度と近接しているほか、いずれの施設も稼働率が非常に低い状況であることから、中央公民館の建て替えと併せた施設の複合化を提案させていただいた。

【志染地区】

中央公民館の建て替えに併せて、その場所に集約するということか。

【経営管理課長】

具体的な建替場所については今後検討していくこととなるが、建て替えに合わせて類似施設を集約するという方針に変わりはない。

【志染地区】

高齢者大学を志染中学校跡地に移転できないかと考えていたが、高齢者大学も中央公民館等と同様に集約する計画なのか。

【経営管理課長】

高齢者大学についても、他の3施設と目的が類似しているため、中央公民館等の複合化に併せて移転する予定である。

【志染地区】

4つの施設を1つに集約することが可能なのか。かなり大きな施設を建てるのか。

【経営管理課長】

現在の各施設の利用状況がいずれも少ないほか、減少していく人口に見合った床面積となるよう公共施設をコンパクトにする。今後、詳細な検討を進めていくが、基本的には施設の集約化を考えている。

【志染地区】

中央公民館付近は広い駐車場がないと考えるが、来館者だけでなく職員の駐車スペースも確保できるのか。高齢者大学の生徒の駐車場はないのか。

【経営管理課長】

駐車場の確保についても、施設の規模等と併せて今後の検討課題となる。なお、高齢者大学からは、バスや神戸電鉄等の公共交通を利用して通学できる場所に移転してほしいという要望もいただいている。今後、運転免許証の返納が更に増えることも見込まれるため、全ての生徒が車でお越しになるわけではないと考えている。

【志染地区】

高齢者大学で勉強している方は、60代後半から80歳程度であるため、しっかり運転できる方が多いと考える。免許を返納するような方が高齢者大学で学ぼうとすることは少ないと考えるため、車で来られる生徒が多いのではないかと考える。

【経営管理課長】

市としては公共交通の利用促進の観点からも、交通の利便性の高い場所への移転を第一義に考えたい。

【市長】

高齢者大学は緑が丘方面から通われている方が多く、公共交通で通える場所にしてほしいという声もあるほか、志染地区や細川地区に移転してほしいという声もあり、市全体で考える必要がある。3つの施設の集約にあたり、仮に中央公民館の場所に複合施設を建てた場合は、立体駐車場や近隣の駐車場を借りる方法等もあるため、総合的に検討したい。

【志染地区】

志染町公民館の体育館は通常よりフロアが硬いため、志染地区には体育館と言える施設が旧志染中学校の体育館しかない。旧志染中学校のグラウンドについても志染地区唯一の運動場であり、地域住民のスポーツ及び健康づくりの場として活用してきた。行政として廃校を利活用する予定はないという回答だが、地域住民としては旧志染中学校がなくなると非常に困るため、今後も体育館とグラウンドについては行政で管理いただけないか。

【教育総務部長】

行政としては、体育館やグラウンドの利用目的のみで廃校を維持管理する予定はないが、地域のスポーツ振興の重要性は認識している。ただし、現状では志染町公民館や志染小学校のほか、三木山総合公園等の他の公共施設を代替施設として活用することも検討いただきたい。

【志染地区】

廃校利活用に係る意見交換会において、どのような形であればお互いにとってよい形となるか今後も引き続き協議したい。

【志染地区】

グラウンドゴルフの練習は各公民館の広場で行っているが、旧志染中学校の広いグラウンドを使いたいという声もある。高齢化により他地区の公共施設まで足を運びにくいいため、志染地区の施設として旧志染中学校を残してほしい。または、民間事業者による利活用が決まった場合でも、グラウンド等

は地域住民が使えるよう調整いただきたい。

【市長】

おっしゃる通りだが、志染地区には、県立総合防災公園にもグラウンドゴルフ場があるためご活用いただきたい。意見交換会等で地域としての活用案を頂ければ市としても柔軟に対応させていただく。旧志染中学校の活用について地域からたくさん意見をいただいております、志染地区は地域への想いが強い地区であると認識している。意見交換会の中で引き続き議論させていただきたい。

ウ 情報公園都市開発や農業振興について

【志染地区】

ひょうご情報公園都市について、先端技術の研究開発をする企業など複数の企業から問い合わせがあったと回答いただいたが、どのような企業なのか、また、何社程度から問い合わせがあったのか、もう少し具体的に教えていただきたい。

【プロジェクト推進課長】

企業名は申し上げられないが、当課には物流関係の企業が複数社まとまって問い合わせに来られた。先端技術の研究開発をする企業については、他の課に問い合わせがあったため、全体として何社になるかは私のほうで把握できていない。

【志染地区】

デジタル時代にふさわしい企業を誘致いただき、三木市を盛り上げていただきたいと思う。また、ネスタリゾートや情報公園都市の開発により、イノシシによる獣害が増加している。関係者で協議したいと回答いただいているが、しっかり検討いただきたい。

【プロジェクト推進課長】

獣害を危惧する地域の声については、市も企業庁も認識しており、どのような対策ができるか企業庁の基本設計にあわせて検討いただくよう申し入れしている。柵や罠の設置等が考えられるが、基本設計を進めながら企業庁と市が一緒になって相談させていただきたい。

エ ひょうご情報公園都市のアクセス道路について

【志染地区】

情報公園都市の設置により県道三木三田線の交通量が増加しているため、新たなアクセス道路の設置により、交通量の緩和を検討いただきたい。また、志染バイパスについて、当初の計画では窟屋地区から御坂地区、三津田地区を通り戸田地区に至る計画だったと思うが、現在はどうなっているのか。

【プロジェクト推進課長】

県道三木三田線の交通量への地区の懸念については、説明会で伺っており、企業庁と共に対策を検討していきたい。志染バイパスについては、県道神戸加東線にぶつかる箇所まで現在事業化されており、次の区間については県の社会基盤整備プログラムにも位置付けされていない状態である。まずは現在の区間を進めつつ、県に働きかけていきたい。

【市長】

志染バイパスについては、当初は戸田地区まで計画されていたが、現在の県の計画では三津田地区までに変更されている。ただし、情報公園都市の整備により交通量が増えるのであれば、市としても志染バイパスの戸田地区までの延伸を考える必要がある。そうしたことも今後県と協議していきたい。

オ 農業振興施策の要望について

【志染地区】

自治会単位ではなく市全体での説明会を開催いただきたいほか、説明会において専門の方が支援策等を説明される際は、素人にもわかりやすく丁寧に説明いただきたい。アンケート結果において農業従事者の7割が60歳以上であることに鑑み、わかりやすく説明いただければ、支援策等を活用する方も増えるのではないかと考える。

【産業振興部長】

農業従事者のアンケートの分析結果について、農会長会において説明させていただく予定である。地域により状況が異なるため、来年度は地域に出向き、各施策についてわかりやすく説明するほか、施策の活用や農地の集積等について地域の皆様と一緒に考えていきたい。

カ 除草の回数増加と安全確保について

【志染地区】

志染大橋付近の歩道の雑草が胸の高さまで繁茂しているため、自転車で通学する中学生が通行しにくいことと思う。草刈りではなく、抜本的に雑草が生えてこないような対策を県へ要望いただきたい。

【都市整備部長】

県道及び市道の草刈りについては、道路の全長が長いいため作業が追い付いていない状況である。管理者がパトロールしているが、お気づきの点があれば市へご連絡いただきたい。県道であれば県へ要望するほか、市道であれば市として可能な限り対応させていただく。

【志染地区】

ディスカウントドラッグコスモス青山店から右折する際、坂であることに加えて雑草が繁茂しており車が見えにくい。交通安全上危険である箇所については、特に除草に努めていただきたい。

【都市整備部長】

ご指摘の市道については、今後密にパトロールを行い、可能な限り除草を進めていきたい。

【志染地区】

志染大橋付近を歩くと、雑草の種子が服について取れない。

【都市整備部長】

県としても限られた予算の中で全ての道路を管理しているため、除草は年1回であると回答いただいている。難しいとは思いますが、可能な限り対応いただきたい旨を県に申し伝える。

キ 細目四合谷間の道路幅員拡幅について

【志染地区】

当該道路は交通量が多いほか、自転車で走行する学生もいる。昔と比べると道路改良されており感謝しているが、今後も待避所の設置等に取り組んでいただければ、より一層利便性が向上すると思う。

【都市整備部長】

昨年度に過去の書類や土地の権利関係等を調査し、地図混乱地であることを確認したところである。狭隘な山を切り開いたような地形であり、2車線への整備には大きな費用を要するほか、多くの土地を取得しなければならないため、早期の施工が難しいことはご理解いただきたい。今回提案させていただいた待避所や部分的な改良については、施工可能な箇所から進めさせていただきたい。ただし、市内には課題を抱えた道路が多く存在するため、優先順位等を検討の上、施工させていただく。

ク 通学路の安全について

【志染地区】

旧志染中学校の交差点から志染町公民館の北側を通る市道については、幅が3メートルしかないにも関わらず法定速度が時速60kmである。狭い道を時速60km以上のスピードで走行する車は、通学中の子どもにとって危険である。昨年度に外側線を引き直していただいたことは認識しているが、注意看板はどのあたりに設置されたのか。

【教育施設課長】

注意看板については、志染町公民館から三木東インターへ向かう途中の、あけぼの認定こども園の北西にある交差点に昨年度設置した。

【志染地区】

スピード規制等は県警察の所管であり市として対策を講じにくいことは認識している。スピード落とせというような注意喚起看板をガードレール付近に設置いただきたいと思う。

【教育施設課長】

今日も御坂地区において、通り抜けの多い農道の朝7時から9時までの交通量を生活環境課と調査したところである。当該道路においても、県道が渋滞すると抜け道として使用される状況が見受けられたため、今後、どのような看板をどの場所に設置するか、看板設置の効果も含めて生活環境課と検討させていただきたい。